



碧南ロータリークラブ週報

第2442回例会 平成21年1月21日(水)

- 会長 平岩統一郎 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 木村 徳雄 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566> 41-1100 FAX <0566> 48-1100
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 長田和徳・岡本明弘・角谷 修・黒田泰弘



- 齊 唱
ロータリーソング「今日も楽し」
- 本日のメニュー
節分弁当 とんがり帽子



平岩統一郎会長

会 長 挨拶

先週50周年実行委員会の最終委員会が開催されまして、決算報告がありました。大変役員の方々にはご尽力頂きありがとうございました。先週例会で50周年の記念誌が配布されましたが、非常に記念誌委員会の努力が伝わってきました、一度是非ご覧ください。

会員の青木稔さんが12月末をもちまして退会されました。青木さんにおかれましては、皆様のご承知の通りロータリーの友の短歌に何回も掲載されました。青木さんの今後の活躍を祈念しております。

時差がありますが、今日アメリカの大統領のオバマ氏が就任されます。世界中に大統領がたくさん見えるわけですが、世界中で一番注目されるのがアメリカの大統領であります。それだけ影響力が大きいわけですが、今の不況と中東の戦争またアラブとユダヤとの紛争と抱えている問題は多々あります。その中で初めての黒人大統領であります。まだまだ人種差別の問題等すべてがなくなったわけではありませんが、その中で中西部のシカゴ市は黒人の割合は多いですし、北に20キロ行ったところにエバンストンというロータリーの本部があります。

オバマ大統領の就任演説も格調の高いものですので是非読んでいただければと思います。それに引き替え日本は、発想が貧困でこの漢字が読めるのかと非常に寂しい限りでございます。

幹 事 報 告

- ・他クラブの例会変更等は別紙幹事報告の通りです。
- ・3月21日にIMが知立にて開催されますので、出席をお願いします。



長田豊治幹事

委 員 会 報 告

〈50周年実行委員報告〉委員長挨拶 新美 孝君
1月14日に20回の委員会を最後に、すべての実行委員会の活動を終えることができました。ひとえに皆様のご協力のお陰であります。ありがとうございました。



新美 孝君



杉浦 健次君

50周年記念事業 収支報告 杉浦 健次君

〈出席奨励委員会〉

総会員数80名(内出席免除者19名の内出席者11名)出席者61名	
出席対象者 61/80名	出席率 77.22%
欠席者19名(病欠者1名)	前々回修正出席率 94.60%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 新美 孝君 碧南RC創立50周年実行委員会の作業が全て終了致しました。厚意と友情に感謝します。
- 杉浦 健次君 本日の収支報告をもちまして、創立50周年記念事業の全てを終了致しました。3年度に亘るご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 岡田 赳勇君 久しぶりに例会に出席させていただきます。
- 平岩統一郎君 } 50周年実行委員会のご活躍に心から感謝申し上げます。
- 長田 豊治君 }
- 亀山 裕一君 本日の卓話の講師にラヴィの澤田直子さんをお招き致しました。竹中義雄さんにお世話になりました。
- 鶴田 光久君 よいことがあります。
- 清澤 聡之君 先日、山中寛紀先生に子供が大変お世話になりました。
- 山中 寛紀君 毎年なのですが、いつも新年の一番にバースデイの花を頂き恐縮に存じます。
- 黒田 泰弘君 深刻な経済状況の中、華やかなひと時を楽しむことが出来ました。平岩辰之さん有難うございました。

クラブフォーラム

「人と人情」 (株)ラヴィ 代表取締役 澤田直子氏

昨年の9月27日の碧南ロータリークラブ、創立50周年記念式典・祝宴をご一緒させて頂きました。皆様と共に打ち合わせ、準備、実行させて頂きましたこの1年半という歳月は、今も私共の心の財産としていきいきと輝いています。

これほどの長い歳月と時間をご一緒させて頂くことは、通常の仕事の中では、めったにありません。

祝宴の終わりに皆様と喜び合ったあの情景は、まるで一緒に励まし、戦った戦友のような不思議な想いでした。

これも皆様の温かなお人柄からくるお陰だとこのご縁を心から感謝しています。

今日は皆様のお人柄に重ねて、人と人情というテーマでお話させて頂きたいと思います。

特にいざという時の人柄に関して、話を進めさせていただきます。

昨年後半から、日本のみならず世界中の国々が、過去体験したことのないような経済不安、恐慌にのみ込まれようとしています。

アメリカ合衆国の新しい大統領のオバマ氏の今後はまだわかりませんが、少なくともあれだけの悲惨なアメリカの経済状態の時に、たった一人の人間の存在が多く国民の生きる希望と心の支えになりえたことがどれだけすごいことか、なにがそうさせたのか、人の上に立つ立場の方々は、興味を持って考える必要があると思います。

別な話となりますが、先日ある航空会社の飛行機に乗り札幌から名古屋に帰るとき、トラブルが重なり、なんと出発が2時間も遅れました。ジャンボ機の機内にいながら2時間も待ったのです。通常でしたらもう名古屋に着いています。待っている立場の人達は、肉体的にも精神的にも本当に疲れるものです。それなのに、その機内にいる客室乗務員の全ての人達が、誰一人としてお客様の顔を見るわけでもなく、申し訳



なく思うような態度も見せず、ただつつんとした顔をしながら早や歩きで通路を行ったり来たりで遅れたこと以上にその態度の悪さに怒りと共にあまりのひどさに本当にあきれました。そのひどさはこのままにはいけないと思い、後日正式なクレームを航空会社に伝え、会社とやりとりしました。私も、客室乗務員の経験がございしますが、普段は、笑顔でサービスしていますので、その人柄はあまりわかりませんが、いざトラブルが発生した時こそ、その人の本当の人間性が出てきます。お客様が不安に思うのか、大丈夫と思うのか、遅れてもしかたないと思うのか、許せないと思うのか、大変だったけど、この客室乗務員に出会ってよかったと思われるのか、言葉や表情、態度によって本当に変わってくるのです。2時間遅れるという現実は何も変わりません。しかし、お客様の気持ちを汲み取り、お客様の心に響く対応が出来ていたなら、まさに、情のあるやり取りがお客様と出来ていたなら、その現実の見方や、受け入れる気構えが全く変わったはずなのです。

今、日本の政治のトップをされている方、経営のトップに就かれています方、まさにいざという時代にはいってきています。そのトップの本当の人柄が今こそ丸わかりです。

情に厚いか、そうではないのか。下につく人達が現実に向き合う時、何を心の支えにするのでしょうか。今年は、色々なことが、表面化されてくると確信しています。

日本は、世界的にみても人情の厚い国です。私は、社員研修のなかで、この日本人の持っている情の豊かさをもっと自覚しようと訴えています。簡単にお話できるところとして、日韓同時開催のサッカー、ワールドカップの際、世界中の選手が驚いたこと、それは、他国の選手に対して、日本人は、心から歓迎し応援してくれたことです。他国で開催される場合、誰も応援歓迎してくれませんかし、応援しないことがいけないとも思っていないです。日本人の遺伝子のなかに、今でも確かに存在する思いやり、情の遺伝子があります。

少し前の話ですが、競馬馬のハルウララという馬がいました。もう引退して何年もたっていますが、新入社員研修で若い人にハルウララは知っているかと聞くと、大抵知っています。ハルウララは113戦0勝、負け続けた馬です。この馬に全国の熱い応援が注ぎこまれました。武豊さんもハルウララ引退間近、騎乗したほどです。当時、若い女の子で、オバQメイクというとんでもないメイクをしたギャルも泣きながら応援にいった姿も印象的でした。

日本人には、負け続けても負け続けても続けていくことの中に美学を感じます。これが良い悪いは別にして、アメリカ、中国では、このハルウララの話は全く理解できないクレイジーな話です。負け続ける馬がなぜ取り上げられるのか、全く分からないらしいです。両国では、勝つもの、富を得るものしか賞賛に値しないとはっきりいいます。私たち日本人は違います。走り続けるハルウララの意地らしさ、そして負け続けるハルウララを決して切り捨てなかった人々の気持ちに、情に感動し、そこに夢と希望さえも抱いたのです。

情。なさけ。今日本が一番大切にしたい言葉です。いざという時、私たちは、情の厚い人間でありたいと願っています。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内 平成21年2月4日(水)
クラブフォーラム「国際交流・ボランティア」
碧南市友好親善協会 副会長 榊原 恵子氏